

男鹿水族館におけるホッキョクグマの受け入れについて

観光戦略課

1 これまでの経緯

- ・ 平成30年1月、釧路市動物園より貸与を受けていたメスのホッキョクグマの「クルミ」の病死により、男鹿水族館がホッキョクグマの国内繁殖を進める公益社団法人日本動物園水族館協会（以下「JAZA」という。）に対し、国内他園（館）からのメスの受け入れに向けたあつせんを要請。
- ・ その後、JAZAが男鹿水族館に対し、姫路市立動物園のメスのホッキョクグマ「ユキ」を、移動候補として打診。同時期に「ユキ」の交尾行動を確認。

2 メスのホッキョクグマ「ユキ」の概要

平成11年11月26日セルビア・パリック動物園生まれの18歳で、姫路市立動物園において過去に出産経験がある。

現在、同園においてオスのホッキョクグマとともに飼育されているが、4シーズンの間、出産から遠ざかっていることや国内頭数の減少からJAZAの種保存事業を受け入れ、より施設環境が整っている施設へ移動する方針である。



3 受け入れに関する今後の見通し

「ユキ」は妊娠している可能性があるため、男鹿水族館への移動については出産見込時期（平成30年12月～平成31年1月）以降、状況を確認した後に最終決定される。

「ユキ」の受け入れが決定した場合、男鹿水族館と姫路市立動物園側で子グマを出産した時の取扱い等の条件を協議し、貸借契約を締結したうえで平成31年3月以降に男鹿水族館へ移動する。

「ユキ」が出産し、姫路市立動物園において自然哺育を行った場合のみ受け入れが中止となり、その際は改めてJAZAに対し、新しい候補の選定を要請する。